# 三つの答

硯山人

むかしドイツにフリードリッヒと云ふ大層偉い王様がありました、このフリードリッヒ大王は自分の近衛兵中に新らしく編入される者がありますときつと次の三つの問をお出しになります

「御前は幾歳になるか？」

「御前は幾年兵隊をしているか？」

「御前は自分の給料と食事とをいつもとゝこをりなく受取つてゐるか？」

そしていつもきつとこう云ふ順にきくのです、或日一人の若きフランス人がフリードリッヒの近衛兵の大將のところへやつてきまして自分をどうか近衛兵の一人にしてくれろとたのみました。此の

フランス人はドイツ語が少しも話せませんので近衛兵の大將は採用する事は出來ないと斷りましたけれどもフランス人はしきりと賴みますので近衛兵の大將もしまひには氣の毒に思ひましたものですから「それでは近衛兵にしてやろう然し王樣は新らしい兵隊を見るときつと御前は幾歲になるか御前は幾年兵隊をしてゐるか御前は自分の給料と食事とをいつもといこをりなく受取つてゐるかとこう云ふ順に御聞になるから御前は前以てその御答を順に獨乙語で暗記してゐたらよいだろうと云つて次ぎのやうに敎へてくれました先づ王樣が始めて御問がわつたら「二十一年です」と答へればよいその次の御問には「半歲」と答へ最後の御問に對して「どちらも」と御返事申上げなさいと丁寧に敎へてくれました、さて或る朝の事でしたフリードリッヒ大王は馬に乘つて近衛兵のゐる所にゆかれますと一人見なれぬ兵隊がゐました、そこで王樣は早速いつもの三つの質問を御かけになりました



が此の時にはどう云ふものでしたか第二の問から御始めになりました此の見なれぬ兵隊とは勿論フランス人のことでした

「御前は歲年兵隊をしてゐるか？」

フランス人は敎はつた順に

「二十一年です」

と御答へしましたそこで王樣は喫驚なされて

「それでは御前の年は何歲か？」

と御聞になりました、フランス人は早速に。

「半歲」

と御答へをしたので王樣はいよ〳〵喫驚なされて

「ナニ半歲！、之れは不思議だ、朕が氣かちがたのかそれとも御前が氣が違つたのか？」

と獨言を云はれましたそれをこのフランス人は第三の問だと思ひましたので

「どちらも」

と御答へしました、その所へ丁度折よく近衛兵の大將が參りこの有樣を見て王樣に實は斯々の次第

と前の事情を委しく陳べましたので王様は此の兵隊がドイツ語を全く知らない佛人だと御きゝになり大層笑つてそのまゝ御歸りになりましたとさ

# 菫御殿

## とよ子

或る所にお花と云ふ九つになる女の子がありました。此子の家は母さん一人きりで極く貧乏な暮しをして居りましたから、お花さんは學校から歸ると直に水を吸んだり雑巾がけをしたりして母さんの御手傳をして居りました。處が或時お花さんが何時もの通り學校から歸つて見るとこ大事な母さんはお加減が惡いとて寢てお出です。お花さんは驚いて一生懸命にお背中を撫でたりお足をさすつたりして居ました。其中に大分母さんの御機嫌も直つた樣ですからお花は此暇に母さんのお好な菫を採つて來て挿して上げ樣と思つて裏の牧場からお山の方へと出掛けて行きました。

頃は丁度春の半でたんぽゝやれんげなどが澤山今を盛りと咲いて居ります。お花は此きれいな花の中をあちこちと歩いて「菫やすみれ、母さんのお好きなすみれの花よ」と歌いながら菫の花の數々を採り集めて小さな花束を作りました。

頓がて氣がついてあたりを見ると何時の間に來たのか道の知れない山奥の谷の中で何方が先來た方やらさつぱり道が知れなくなつてしまいました。お花は一人悲しくなつて「マア氣のつかないことをした、何うしたらよからう」と思つて居ると後ろの方から

「お花さん〳〵、」

と云ふ聲が聞えました。お花は

「ハイ、何誰？」

と振り歸へつて見ると、是は又不思議、頓と見たことのない、然もきれいな姉さんが立つてお居でゞす。其顔の美しく優しいこと、そして頭には菫